

例会報告

第2253回例会報告議事録

日時 24年7月24日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト: 2790地区ガバナー 得居 仁 様
第10分区ガバナー補佐 宮 寛 様
第10分区ガバナー補佐幹事 山崎 康弘 様

会長挨拶

丸田会長



得居ガバナーよりニコニコをいただいております。ご報告致します。

7月17日に職業奉仕セミナーに上村晃一委員長と参加して参りました。

私は非常に参考になりました。上村晃一委員長、ありがとうございました。

地区の危機管理委員会からの報告です。青少年と接する際の行動規範に関する声明です。

①未成年者を同席させる場合には、アルコール、喫煙、ハラスメント(性的な物に限定されない)が生じないようにすることについて、特段の配慮をすること。

②新世代奉仕プログラム(RIの常設プログラム、ロータリー米山記念奨学会、ロータリー財団等)に参加している新世代に対し、そのプログラム本来の奉仕活動以外の活動に参加、協力を要請する場合は、予め地区危機管理委員会にその旨の報告すること。

③ロータリー新世代奉仕プログラムに参加している新世代が、本来の活動、他の地区委員会並びに地区内クラブ、及びこれらに関連する他団体が主催する活動に参加する場合、その活動に因って生じた事故・災害について、十分な補償がされる保険契約を締結し、或は締結されることを確認し、これがなされない活動には新世代を参加させてはならないこと。

先週の二十日の日に、柏西RCの小林太時さんの結婚披露宴に出席させていただきました。大変楽しい一時を過ごさせていただきました。柏西の皆さんが仲良くまとまっていて、小林太時さんの人柄を感じました。

今日はこの後、得居ガバナーの卓話や、クラブ協議会があります。先ほど懇談会をやったのですが、とにかく、迷わず行動しなさい、思い切ってやって、失敗を恐れるなど励ましをいただきました。まだなりたてですが、一年間がんばってやって行こうという気になっています。よろしくお願い致します。

親睦活動委員会報告

塩毛親睦委員長



今年度最初の夜間移動例会ですが、手賀沼の屋形船ということで決まりました。6時半から2時間です。集合場所は「手賀沼の小池」さんです。駐車場がありますが、お酒も出ますのでご注意ください。船は座敷だと足が痛いということもありますので、すべて椅子をご用意しました。ぜひ奥様方もいらしていただければと思います。船べりで浴衣も似合うと思います。花火もやったり、一夜の涼を取りながら楽しみたいと思います。皆様よろしくお願い致します。

出席報告

佐藤出席委員長

24名出席(全員で25名) 出席率96%

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金 額
得居ガバナー		10,000円
丸田会長	ガバナー公式訪問ご協力感謝いたします。	2,000円
鈴木会員	1学期無事終了しました。	1,000円
服部会員	新潟魚野川で1年ぶりに鮎釣りを楽しみました。	1,000円
野田会員	上村さんよりハワイの写真頂きました。ありがとうございます。	1,000円
志賀会員	ハワイの写真を頂きました。	2,000円
星野会員	上村さんよりお土産頂きました。	1,000円
当 日 計		18,000円
今期累計		36,000円

幹事報告

松本幹事



- ・先ほど会長の方からお話ありましたが、地区危機管理委員会からの通達が事務局に来ております。
- ・柏南RC・柏RCより活動計画書受理。
- ・柏RCの会報受理。

卓話

2790地区ガバナー 得居 仁 様



松戸東RCの得居仁と申します。2790地区ガバナーとして我孫子RCに公式訪問ができますことを大変光栄に存じております。

先刻行われた会長幹事会におきまして、我孫子RCの現状、展望、課題等について率直な意見交換をいたし、我孫子RCの日頃の奉仕活動に深甚なる敬意を表する次第でございます。どうぞ今後ともクラブ発展のために一層のご研鑽、ご尽力くださいますことを期待致します。

30年振りの日本から3人目の、埼玉県八潮RCの田中作次国際ロータリー会長の今年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」です。

会長の胸についているテーマピンとテーマロゴが若干違って、ピンの方には名前が入っておらず、ロゴの方には名前が入っています。かつてテーマはRI会長テーマと言っていました。国際協議会で手を挙げて研修リーダーに質問しました。いただいたピンとロゴマークが違うのですが、RI会長テーマに戻すのでしょうかと聞きましたら、お返事がありませんでした。次の日にオクトンさんに聞きますと、事前に受け取ったものは名前は入っていなかったとのことでした。帰って来た後、地区幹事長がRIの日本支局に質問しました。ロゴマークに名前が入ることはかつてあった、名前が入ったものがロゴマークだと理解しているとのことで、私の質問には誰も答えてくれませんでした。

田中会長は、ロータリーは国や民族間の友情と寛容を推進することで、互いに理解し合う最も伝統的な意味での平和の後押しをすることができるとおっしゃっています。世界三都市でのロータリー世界平和フォーラムの開催を決定されました。2013年5月17日(金)・18日(土)に広島で「平和はあなたから始まる」というサブタイトルの大会が開かれます。日本34地区からそれぞれ最大20名のロータリアンと10名の新世代の参加が要請されています。

田中会長は「ロータリアンは自分よりも他の人のニーズを重視する。超我の奉仕というロータリーの標語は自分だけでなく社会全体の為を考えようと教えてくれる言葉であり、超我の奉仕を実践することにより私たちは平和、心の平安、家族の幸せ、満足感、人間の基本的なニーズが満たされた安全な状態を表現することができる」とされています。田中会長は「平和」に2つの意味を持たせておられると思います。

(次ページへ続く)

田中会長から地区ガバナーに対して

1. ロータリー世界フォーラム推進参加
2. ロータリー戦略計画3つの優先項目である、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上に力を注ぐこと
3. 奉仕を通じての平和の精神をもってロータリーの究極の目的である平和な世界に向けて邁進すること

の3点の要望が出されております。

R I定款と皆様のクラブ定款の第4条に規定されている綱領とは最も重要なものであることを意味する言葉であり、定款は国家に例えれば憲法に匹敵する基本的かつ重要なものであります。私たちロータリアンは守り通さなければなりません。

ロータリーの目的は奉仕と言う基本理念の上に立って事業が行われるようにすることにあります。ロータリーの目標は職業奉仕に尽きます。事業を成功させるには顧客の満足を追求する以外にないという結論に達します。

私はロータリーは職業奉仕の推進を目的とする実践的倫理運動であり、職業奉仕を中心とし、そこから新たに加わった新世代を含む奉仕の輪が広がり、それを結んだ輪の上に関連した諸活動が円形に広がって回転している、これがロータリーの基本構造であると考えております。

地区ガバナーは地区内クラブに対する指導と監督を行うことでロータリーの綱領を推進する任務を課せられております。私はガバナーの任務遂行の為に意識を持って地区の変革を試みてみました。

まず第一点は地区委員会の官僚化による硬直した地区委員会活動になってしまわないように、事前に防止するための地区委員会委員の思い切った交替を計りました。組織化、官僚化による自己肥大本能を防止する為の大幅な減員を行いました。

二点目は、ガバナー事務所経費の大幅な削減のために月信をカラー印刷から白黒印刷に変え、ページ数を削減しました。会長幹事様には原本をお届けし、会員の皆様にはコピーをご用意しました。事務局の人件費の削減と会議費の削減を目指し、これらにより、各クラブに負担していただいていた地区委員会セミナー登録料を廃止することができました。

三点目はIT化の実現です。ガバナー事務所の完全な管理下にあるホームページを開設し、地区内クラブ活動状況というウィンドウを作り、既に木更津RCは掲載されています。ぜひ皆様方もクラブ活動の原稿をガバナーエレクト事務所にお送りいただきたいと思います。また、クラブへのお知らせ、連絡をネットにより一斉発信し、アンケートの回答等がメールを通じて受け取れるシステムの完成を目指しております。会長幹事様には週に1回はホームページを閲覧して最新情報に接していただきたいと思います。

私は地区内クラブに対しては9項目の要望を致しております。

重要事項3で、新世代奉仕に関する要望を致しております。7月7日、社会奉仕委員会との合同セミナーの開催をお願いしました。初めてのことで、私の希望した内容に100%かなったものとは思わないのですが、地区内クラブに新世代奉仕一般プログラムというものを認識していただくきっかけにはなったと思っております。R Iが新世代奉仕を五大奉仕にしたのは、会員増強拡大を意図したことだと近藤前理事はおっしゃっておりますが、日本ではそうは行かないのではと思っております。私たちは将来のロータリアンとなる新世代の育成を目的とし、同時に私たちが新世代の手本となるように努めて行くべきだと思います。

要望事項6点目は例会の意味を改めて問い直してくださいと言う事です。

8項目に、「職業奉仕に生きること、話し合い、語り合おう」のテーマの元に行われるロータリー情報研究会、それに先立つクラブ職業奉仕委員長セミナーを効果あらしめるためのご協力を、というお願いを致しました。

我孫子RCの活動計画書を拝見しまして、私の考え、要望が多く取り入れられていることに大変嬉しく感激致しております。

地区内各クラブにクラブ会員研修の教材としていただきたく、冊子「忘筌（ぼうせん）」を3冊ずつお送りしました。ロータリーが何たるかを確率することができた決議23-34を忘れ去っているのではないかという意味を込めた表題だそうです。

ポール・ハリスが1935年に出版した"This Rotarian Age"（米山梅吉さんの「ロータリーの理想と友愛」）という本があります。「わずか30年の短い期間に、このような進歩を遂げた運動というのは、徐々に勢力を集めた結果であったに相違ないということは明白である。それは一人の、あるいは何人かの靈感によったものではあり得ない」と言っています。ロータリーはその理論が、実践に導かれて集合集約されてきたモザイクなのだろう。ハロルド・トーマスの「ロータリー・モザイク」とはそういう意味なのではないかと思えます。

我孫子クラブの活動計画書にも決議23-34が掲載されております。前文に「ロータリアンのすべ

てがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適応することを奨励育成することが社会奉仕である」とあります。欲望を自己制御することが利己と利他との調和をはかるロータリーの超我の奉仕の人生哲学、心構えであります。

我孫子RCの平均年齢は65.6才だそうです。私は67才になります。日本のロータリークラブの高齢化は避けて通れない必然です。サミュエル・ウェルマンの詩「若さとは」を一部紹介します。「若さとは人生のある時期のことではなく、心のあり方のことだ。人は歳月を重ねたから老いるのではない。理想を失う時に老いるのである。歳月は皮膚にしわを刻むが、情熱の消滅は魂にしわを刻む。人はその信念に比例して若くあり、疑いに比例して老いる。自信や希望に比例して若くあり、恐れや絶望に比例して老いる。大地や人間や神から美しさ、喜び、勇気、崇高さ、力などを感じ取ることが出来る限り、その人は若いのだ。すべての夢を失い、心の芯が悲観という雪、皮肉という氷に覆われる時、その人は真に老いるのだ。」ロータリーから美しさ、喜び、崇高さ、力などを感じ取る事ができる限り、そのロータリアンは若いのであります。

我孫子RCの益々のご発展と会員皆様のご健勝を記念しまして、公式訪問のご挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

我孫子RCクラブ協議会

司会進行：我孫子RC幹事 松本幹事

13：45 クラブ協議会 各委員会活動報告発表 各委員会7分

- ・クラブ管理運営委員会 米田 友義 委員長
- ・親睦活動委員会 塩毛 康武 委員長
- ・職業奉仕委員会 上村 晃一 委員長
- ・国際奉仕委員会 高島 孝 委員長
- ・社会奉仕委員会 星野 栄 委員長
- ・広報委員会 鈴木 公三 委員長
- ・会員増強委員会 小池 喜之 委員長

14：30～ ガバナーとの意見交換 主題「ロータリーについて語り合おう」

15：10 終了予定

会長挨拶

丸田会長



先程11時10分より約一時間、ガバナーより貴重なお話を色々と伺いました。委員長だけでなく、できるだけ皆さんとお話がしたいとおっしゃっていました。ざっくばらんに話ができればと思います。

クラブ管理運営委員会 発表

米田クラブ管理運営委員長



地元のお祭りが土日であり、その責任者をやっており、大きな声を出していて声が出なくなっていました。お聞き苦しい点もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

今年度、クラブ管理運営委員会は、皆さんの負担にならないように、より効果的にクラブ運営を行いたいと思っております。ロータリアンは1人でも多くの人にロータリーの魅力を伝え、一人が一人会員の紹介を行い、拡大につなげて行きたいと思っております。会員が増えることにより各委員会活動が充実し、ガバナーが進める委員会の垣根を越えたクロスプロモーション活動で新たな価値が生まれ、魅力ある例会が行われ、会員相互の親睦も深まり、人数が増える事により地域社会に奉仕できる素晴らしいクラブ運営が行えるように努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

1. 例会の運営 2. 広報活動 3. 親睦活動 4. 会員拡大

以上4つの事を行っていききたいと思います。よろしくお願い致します。

例会の方は、まだ深くは話し合っていないのですが、先輩方の卓話を聞いて行きたいと思っています。

当初にあたり会長の方から、思い切りやっていただきたいと言うことで「かしこまりました」と軽やかに返事をしたのですが、予算は書いてある通りです。年間記念品に12万かかり、残りの28万円で皆さんとワイワイ楽しめるか考えている次第でございます。

第5例会で年5回、夜間例会を予定しています。今月の夜間移動例会は最初はビアガーデンを考えていたのですが、理事会で地元に戻元できる事をした方が地域での認知度をあげる為にもいいのではないかとのご意見を上村晃一会員にいただき、手賀沼の屋形船になりました。私共の活動自体が広報になるのではないかと思います。実際、手賀沼の小池さんで屋形船の申し込みをした時、「我孫子ロータリークラブ」の名前を言っても、ご存じないようでした。仲間同士では知っていても、他の所では知られていないと思いました。認知度を高めるような親睦活動をして行ければと思います。

予算を上回るような充実感のある親睦活動をして行きたいと思います。ご協力の程よろしくお願い致します。

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

「ロータリー通解」という本の中にガイ・ガンディガーは次のように書いています。「一時間の昼食例会の最初の半分は、通常、食事と親睦に専念する部分であり、年間総数50日間の例会のうち最も重要な仕事を達成すべき時間の余裕はわずか26時間しかないことになる。我々はこの時間を無駄に過ごしては行かぬ。この後半の卓話の時間において、会員が自分の企業について語る話を聞く機会はロータリーの会員であることによって与えられた最も重要な特権であり、ロータリーの慣例、ロータリーの理論、ロータリー情報の勉強は個々の会員を教育するものであり、議長を輪番制としたり、不意打ちの議論を行わせる等の方法を取ることにによって、多くの内気で、引っ込み思案で、はにかみ屋の会員が、その殻の中から引っぱり出されて、人々の指導者になったのである。

また、この26時間は、会員の心の中に最高の職業倫理基準をなお一層しっかりと植えつけることになり、ロータリーの原則を体得するにつれ、ロータリアンは、ただ単に奉仕能力が出来るだけでなく、さらに進んで奉仕する意欲に燃えるようになる」

職業奉仕委員会 発表



得居ガバナーが今年度は職業奉仕を重要視されていて、意を強くしています。私はロータリー歴が40年以上になります。最初の20年位は何もやっていませんでしたが、最初に自分の職業を通じて自分の自己研鑽と若い人を育てるということを徹底的に教育されました。が近年そちらの方は重要視されず、ただ会員を増やせ、財団の寄付を増やせと言ったR Iからの要望に沿った活動になっていると思います。

IM等でR I批判をしてきたので、物議を醸し出しておりますが、こういう事が日本のロータリアンが減った原因ではないかと思います。松戸の土屋パストガバナーが新年に月信に「他人の金で奉仕する虚構」という論文を出されましたが、私はこの論文の主旨に沿った形で衰退していると思いました。

我々は職業人です。自分の商売がうまく行かなくて、ロータリーに入っている意味はありません。世界の平和と言ってもほとんど実感がありません。ライオンズはWe serveということでロータリーから独立したという話も聞きます。I serveで孤独でも耐えて生活して行くのがトラです。タイガーズクラブみたいなものを独立して作るくらいの考えで行かないとR Iの時勢に流されたロータリーだと日本のロータリアンが減って行くのは仕方がないと思います。

ぜひ今年は職業奉仕というロータリーの基本について確認しながら進み、まだ当分活動して行きたいと思います。

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

大変心強いお話でした。くれぐれもどうぞよろしくお願い致します。



上村晃一委員長が今、おっしゃった話の三分の二位が私の言おうとした事とだぶっています。

私は1975年にロータリークラブに入りました。丁度10年目の年に入りました。ロータリーの事について非常に不勉強でした。

常々気に掛けている事は、ロータリー財団に毎年寄付をしていますが、寄付をした個々には報告がないことです。寄付の額が減っているのは、そこにも原因がある気がします。

会員が減っている事については、不景気が一番の原因だとは思いますが、不景気な時ほど営業努力をしなければ今までの仕事量を確保できないと思います。ロータリーは一種の異業種交流です。自分の職業を買ってくれる所がなければ奉仕はできません。異業種交流会を活用するのが日本人は下手なようです。ある程度地域社会で職業が成功すると、日本人は武士になりたがりです。ロータリーをやめて行く人は職業を通じてのお付き合いができなかったという方々の方です。

非常にミクロな話ですが、私がガソリンスタンドの経営者だったとして、ロータリーの友人が隣のガソリンスタンドでいつも給油していて、ロータリーの時だけ仲良くしようとしてもうまく行かないと思います。

国際奉仕の中には姉妹クラブがあり、去年今年と瀧日会員が委員長をなさっています。ついこの間、ハワイの記念式典に行ってきました。いい活動ができていますと思います。

米山奨学金については、決算が割としっかりしています。が、国際競争力がついた中国からの学生にも援助の必要があるのかどうか。金の使い方をもう少し目に見える形で使っていただく事が必要なのではないかと思います。本当に必要とされている所にお金を使う必要があるのではないかと思います。

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

活動計画書を拝見して、我孫子RCに国際奉仕をされている方が沢山いらっしゃることを初めて知りました。大変尊敬申し上げます。ぜひこの伝統を受け継いで行っていただければと思います。

RIがWCSをやめたのはお金がかかり過ぎるためです。が、WCSの精神は国際奉仕と全く同じです。素晴らしい伝統をぜひ続けていただきたいと思います。

財団についてはおっしゃる通りです。財団はとにかく寄付しろ寄付しろだったのですが、それは間違いだと思います。私は、今年、財団の補助金を使うことを考えて欲しいと申し上げています。一人一人ができる範囲のことをして、ロータリー財団の性格が今年度以降変わる事を期待しております。

米山については管理費用は基本財産から出ており、皆さんの寄付は使っておりません。米山のそもそもの主旨は、東南アジアの学生達に平和日本の真の姿を見てもらおう、日本人が本当に平和を愛好する国民なのだということを見てもらう、それ以外に平和国家としての我が国は生きる道はないのではないのかということが米山の豆事典に書いてあります。

東南アジアが徐々に経済成長すると同時に状況は変わりつつあります。米山財団も貧困家庭の子どもを助けるよりは優秀な学生に奨学金を出すという方針のようです。

出来る範囲で地区の多くの人達の思いにかなうことができるような奨学金の出し方をしようということで、例えば1国の国籍は全体の30%を越さない、国交がないということで日本の国費奨学金が出ていない台湾の学生に奨学金をあげる、等考えています。

米山にホームカミング制度というのが5、6年前からあります。国に帰られて立派になった方を地区大会に呼んで話をさせていただきます。35年前に千葉大で勉強された台湾の女性を今年お呼びします。台湾で村上春樹を翻訳されている方です。皆様のお金がこのように役立っているということを見ていただいて、米山にご納得いただいた上で寄付金を出していただけたようにしたいと思います。

質問 上村晃一会員

今までの米山奨学生の60%が中国人です。中国が嫌いなわけではありませんが、国別に希望者を募る等してはどうかと思います。

アンサー 得居ガバナー

今年の募集は中国は全体の3割です。精一杯の努力をしています。ご理解いただければと思います。



過日、地区協議会で社会奉仕委員会の方針を聞いて参りました。

我孫子RCとしては、新世代、ロータリー財団と連携し、地域社会の中で色々な情報を集め、お互いに情報提供し、ニーズに合った社会活動をして行きたいと思っております。会員の皆様におかれましては、得居ガバナーのお話の中にもありましたロータリーの綱領である決議23-24をしっかりと読んで活用し、自分たちの活動をしていただきたいと思いますと思っております。

職業奉仕委員会とともに、新しい世代の若者が将来に向けて明るい希望を抱く事ができるように次のような活動を計画しています。

- 1.千葉県立我孫子東高等学校の生徒さん方への職業体験、インターシップの実施（11月に実施予定）
- 2.当ロータリークラブの事業所の若い皆様方の交流会

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

宮ガバナー補佐の方から詳細な報告をいただいております。レンゲまつり、ロータリークラブ企業社員交流会等、大変素晴らしい活動だと思います。ますます発展させていただければと思います。

我孫子東高等学校の職業体験ですが、我々ロータリアンは職業奉仕に徹して職業をしていることをたくさん見せて聞かせていただければと思います。

一つ釈明させていただきたいことがあります。継続事業はダメだと私が言っているという間違った情報が伝わっているのですが、前年やっているから、という理由だけでやるのはやめてください、やるだけの理由がある、ということを確認した上でやってください、ということです。どうぞよろしくお願い致します。

広報委員会 発表

鈴木広報委員長



ロータリーに入って13年目ですが、初めて広報委員長を仰せつかりました。広報というとロータリー情報とか、会報雑誌とかあるのですが、今、外に向かって何を発表するかと言うと、我孫子RCの源流、潮流みたいなものを今一度ひもとく必要があるように思います。

13年前に井上先生や村越さんにロータリーに誘われて、ご厚意に甘えて入りました。スリランカに行かないかということで、上村先輩、井上先生のご家族と幼稚園のスタッフと行きました。

もっと前をひもとくと、28年前に我孫子に縁があり、家内の父親から幼稚園をやらないかと誘われました。星野邦夫先生はセブ島に医療奉仕に行かれるという事で、星野邦夫先生が立ち上げられた湖北白ばら幼稚園を私が家内と二人でお受けしました。星野先生が最後に「公三さん、いい幼稚園にしてね」とおっしゃられました。今もその事は忘れません。我孫子ロータリーにはそういう確かな潮流があって、先達の想いが形になり、今も生き続けていて、私がなすべき広報のひとつの手だてであると確信しています。

中学生の保育体験ですが、心が荒れがちな中学生の中に幼い頃の自分に帰り慈しむ心をいっぱい見ました。こういった活動をロータリー主催でしばらくやったことも部内の広報として新しい会員にも伝えて行かなければならないと思います。

継続事業であるレンゲまつりは、500名位の親子共々5月の爽やかな風に吹かれながら、生きている事の素晴らしさ、親子の絆、地域のロータリーのおじさんてこんな人なんだなということ等、毎年知ってもらえるチャンスかなと思っています。

職業を通じて、我々ロータリアンが高みに至る、要するに、企業としての利益追求と、人として品格のある人になりなさい、ということが命題なのだと思います。

最近、ロータリーの仲間であるハウスメーカーの方のお仕事振りを拝見したのですが、企業に行った時のスタッフの暖かい挨拶、態度、お仕事の後の掃除の仕方等にとっても感動しました。ロータリアン同士、目指していることを知る事も広報をして行く上での重要な手だてだと思います。

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

素晴らしいお話でした。ロータリアン一人一人がロータリーの広告塔なのです、というお話を三大セミナーでしました。RIは姫路城や森ビルに「End Polio Now」という映像を大きく写したりしていますが、私はやはりロータリアン一人一人がロータリーの広告塔として振る舞って行く事が広報だと思っています。

我孫子RCの活動をホームページや「ロータリーの友」に掲載していただきたいと思います。

会員増強委員会 発表

小池会員増強委員長



最近、当クラブにおいても病気や高齢化による退会が続いております。また、厳しい経済状況により新会員の増強が思うように進んでおりません。

我孫子RCは40代が2名、50代5名、60代9名、70代9名、80代2名で、全体の74%が60才以上です。ほとんど会長幹事経験者ばかりになっています。

魅力あるロータリークラブを目指し、新入会員増員3名を目標に頑張りたいと思います。それぞれ一名以上、推薦していただきたいと思います。退会防止策として積極的にクラブ管理運営委員会と協力し例会の活性化を促進したいと思います。

職業奉仕はもちろんですが、活力あるロータリー活動、楽しい例会、信頼する仲間、気持ちの抛り所となるクラブ、魅力あるロータリーライフが必要だと思っています。会員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

アドバイス及び補足説明 得居ガバナー

今の認識が必ずや増強に具体的に結びつくと思います。ただ、ロータリーに入会する人ではなく、ロータリアンとなれる人を入会させてくださいという田中会長の言葉はなるほどなだと思います。どうぞご無理をなさらず、増強に王道はございません。がんばってください。よろしくお願い致します。

CLPについて

2790地区ガバナー 得居 仁様



今年の国際協議会の中で、CLPというのはクラブの棚卸しをして委員会構成を考え直せというものだという説明が研修リーダーからあり、私は昔の説明をRIは変えるのかと質問しました。答えてもらえないと地区に帰れないと申し上げました。教わっていない事は答えられないのが研修リーダーであり、返事はありませんでした。

ロータリーコーディネーターという方が主催をし、ガバナーと地区委員長を集める会合を年に何回も開こうとしております。ロータリーコーディネーターの地位と権限がわからないので、私は出ておりません。

私の独断ですが、CLPは失敗に終わったと思っています。CLPを採用した後、不便で仕方がないということで今年度は直そう、というクラブもあるそうです。

質疑応答



質問 瀧日会員より

「RIは世界最大のボランティア団体を目指す」という説明を聞いていますが、その辺についてご説明いただきたいです。

アンサー 得居ガバナーより

松宮さんが理事になられる前に、ロータリー研究会で日本のロータリーとRIの間には乖離があるとおっしゃっています。国際ロータリーは創立の時期から緩やかな結合体だと思います。財団の規模から言っても世界一にはなれません。本質ではない、現象の一つだと思います。それはいずれ本質に戻って来ると信じて私たちは正しい道を歩いて行く。そして時として、反対すべき時は声を発して行くことを地道に続けて行く。日本のロータリーは職業奉仕を大切にしていっていきべきだと思います。将来のことはわかりません。でも、私は変質しきれないだろう、本質は変わっていないと信じて、ロータリー運動を続けて行きたいと思っています。

閉会の挨拶

丸田会長



今日は11時から約4時間たち、得居ガバナーは大変お疲れの事と思います。各委員長の方から色々とお話をいただき、ぜひ理事会等に向け、新たな試みや、新たなルールとして我孫子RCが良くなる方向へ皆様と検討して行きたいと思っています。ひとつ今年一年ご協力をよろしくお願いしまして、終わりの言葉とさせていただきます。

ガバナー公式訪問 会長幹事懇談会

1. 活動計画書の1ページロータリーの綱領に誤植があります。事業に「に」は正しくは「の」です。
2. 「休会者」ですがロータリーに規定では認められていないので理事会で協議の上、対応策を取って下さい。
3. 私の言葉で皆さんが勘違いされている点を訂正させていただきます。
 - 3-1. ガバナー月信は会長幹事宛には本紙。会員向けにはコピーで配布致します。
 - 3-2. 継続事業ですが継続事業は必要と考えます。内容がマンネリ化や慣例化は排除すべきですと言う意味です。ですので我孫子クラブが行なっている「れんげ祭り」「社員交流会」素晴らしい社会奉仕です。又、東高等学校のインターシップ新世代、職業奉仕として10分区で盛上げて下さい。
4. 地区委員へ推薦のお願いします。我孫子クラブにはロータリアンとして素晴らしい人がいらっします。
地区委員になって下さい。確かにロータリーの行事で本業とのバランスが有るかも知れませんが、
必ず本業に良い結果となつてご自身に返つて来ますのでご検討下さい。
5. 会長幹事は地区ホームページ必ず見て下さい。
6. 仮決算でも良いので見せて下さい。
7. 地区分担金高いと思いませんか？節約方針で次年度に引き継ぎます。
8. 50周年事業への余剰金ですがニコニコを有効に、もっと集める方法に工夫をして下さい。
9. 定款細則の変更 定款が元で細則の変更はクラブの運営の根幹ですので良く理事会で検討下さい。